



2004●VOL.2199  
8月10日(火曜日)

## 血管再生療法を 膠原病に応用へ

信大・池田教授ら

信大医学部附属病院の池田幸一・循環器内科科長(大学院臓器発生制御医学講座教授)らの共同研究グループはこのほ

働省の厚生労働科学研究に採択された。今年度から3年間で1億5000万円の研究費を受け、研究を進める。

共同研究を行うのは、信大附属病院循環器内科・心臓血管外科、大学院臓器発生制御医学講座、名古屋大学医学部附属病院循環器内科、京都府立医科大学附属病院循環器

内科、自治医科大学アレルギー膠原病科。池田教授が主任研究者を務める。信大病院心臓血管外科長の天野純教授と池田教授らは、すでに自己細胞移植による四肢の血管再生療法を行っている。今回の研究では、従来循環器領域に応用していた血管再生療法を、強皮症、ペーチェット病など、膠原病による末梢部の血管炎に適用拡大する。すでに自治医大が実施しているが、有効性を多施設で確認し、治療法としての確立を目指す。動物実験のほか、医倫理委員会の承認も得ており、ハード面の準備が整えば臨床応用もできるという。

池田教授は「信大は脈管に関する基礎医学の研究の層が厚くなっている。厚労科研への採択は、信大が脈管再生の拠点と認めてもらえたという点ではないか。新しい療法は膠原病患者の救済に大きく貢献するだろう。研究を通し、新しい最先端治療を世界に発信していきたい」と話している。